

岩手県感染症週報

平成15年第25週（6月16日～6月22日）

岩手県結核 感染症情報センター

第25週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

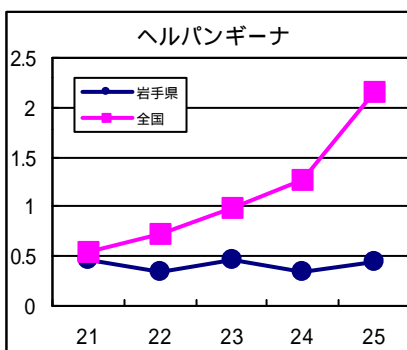
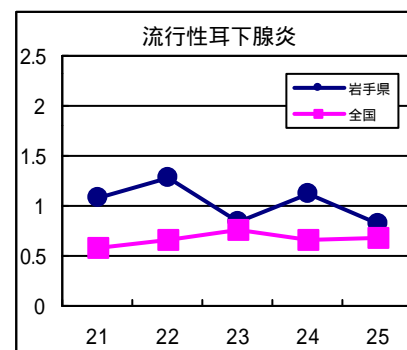
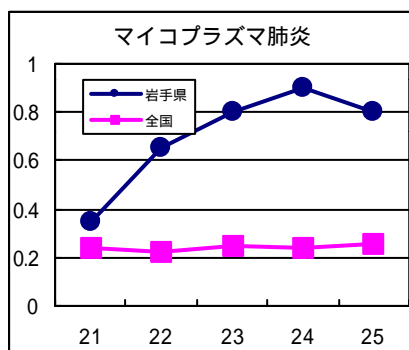
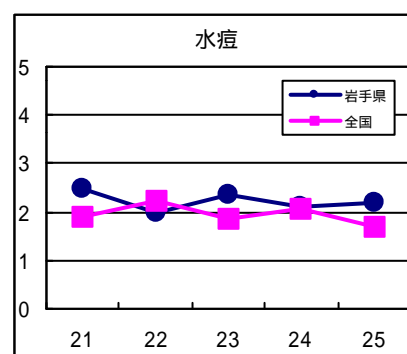
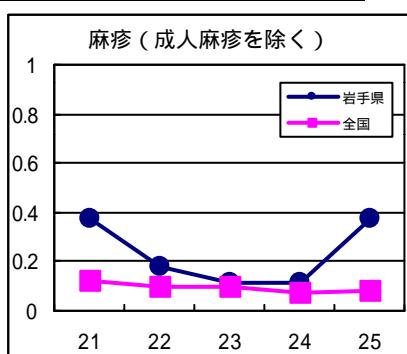
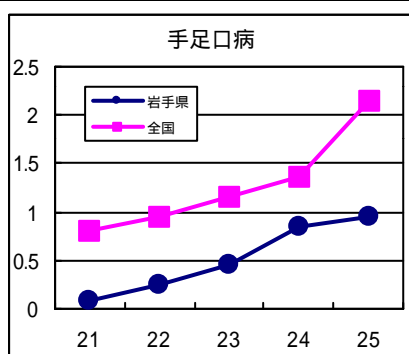
- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・麻疹は、いったん患者数が減少していた水沢地区で再び増加しました。同地区では、前週までは中・高校生の間で患者が多く発生していましたが、この週報告があった患者はいずれも満1歳未満の乳児です。また、この週には、盛岡、北上、釜石、宮古地区からも患者発生の報告があり、県内各地に感染が広がりつつあるので引き続き注意が必要です。
- ・手足口病は北上地区で依然として患者数が多い状態が続いています。近隣の花巻、水沢地区でもこの週には患者数が増加しました。他の地区でもこれから患者数が増加するものと予想されます。
- ・水痘は、前週に患者数が警報値を超えていた水沢地区で患者数が減少しましたが、北上、釜石、二戸地区で患者数が多い状態が続いています。
- ・このところ夏風邪の症状（急な発熱、上気道炎、発疹など）を訴える患者が目立ってきています。病原体検査の結果から、アデノウイルスやエコーウイルスが病原とみられています。感染の予防にはうがいや手洗いが有効です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		21	22	23	24	25		
インフルエンザ	岩手県	0.02	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.03	0.03	0.03	→	
	全国	0.28	0.3	0.36	0.39	0.42		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.95	1.11	0.92	0.89	0.68	→	
	全国	1.63	1.58	1.61	1.6	1.49		
感染性胃腸炎	岩手県	2.05	2.08	2.32	1.79	1.58	→	
	全国	4.63	4.52	4.19	3.94	3.52		
水痘	岩手県	2.47	2	2.34	2.11	2.21	→	
	全国	1.9	2.22	1.88	2.08	1.68		
手足口病	岩手県	0.08	0.24	0.45	0.84	0.95	↗	
	全国	0.8	0.95	1.15	1.37	2.14		
伝染性紅斑	岩手県	0.16	0.29	0.18	0.24	0.24	→	
	全国	0.31	0.34	0.32	0.33	0.37		
突発性発疹	岩手県	0.61	0.47	0.53	0.53	0.58	→	
	全国	0.76	0.81	0.81	0.83	0.87		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.47	0.34	0.47	0.34	0.45	→	
	全国	0.54	0.72	0.99	1.27	2.15		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.37	0.18	0.11	0.11	0.37	↗	
	全国	0.12	0.1	0.1	0.07	0.08		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.08	1.29	0.84	1.11	0.82	→	
	全国	0.58	0.66	0.77	0.66	0.68		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.42	0.42	0.92	0.92	0.58	→	
	全国	1.06	1.04	1.07	1.07	1.01		
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.07	0.07	0.1		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.35	0.65	0.8	0.9	0.8	→	
	全国	0.24	0.22	0.25	0.24	0.26		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 21	22	23	24	25	累計	25	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	9
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	8	4	205
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	31
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	18
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	0	0	1	49	545
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	3	5	236
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	11
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	27
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	1	0	1	0	0	9	2	429
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	4	54
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	34
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	6	391
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	6	47
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	12
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	1	2	0	0	0	3	6	120
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	16
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	9
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	5	222
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	31
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	34
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	2	36	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	55	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

[概要]

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は昨年11月1日から6月26日までに、世界32カ国・地域でこれまでに8456人が感染し、809人が死亡、7371人が回復したと発表しました。

日本では6月25日、外国からの観光客が可能性例として1名報告されています。

6月26日現在の「最近の地域内伝播」が疑われる地域は以下のとおりです。

カナダ・トロント(C) 台湾(B)

注) (A,B,C)は地域内伝播のパターンを表し、A<B<Cの順で地域内伝播が深刻な状況である。

厚生労働省は5月1日、中国本土と香港からの帰国者に対し、帰国後10日間は 家族・友人を含め、人と会うのは最小限とし、濃厚な接触はさける、 外出時はマスクをできるだけ着用する、 発熱、せき、呼吸困難のうち、ひとつでも症状が出た場合には、予約を取ってから保健所や医療機関を受診する、 帰国者と接触した人に症状が出た場合も、保健所に電話で相談し指示に従う、ことを求めています。

[症例定義]

厚生労働省はSARS疑い例及び可能性例の届出のための症例定義を定めました。（5/8改正）

疑い例

2002年11月1日以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・38度以上の急な発熱
- ・咳、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・発症前10日以内に、SARSの症例を看護・介護するか、同居しているか、患者の気道分泌物、体液に触れた者
- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に旅行した者
- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に居住していた者

可能性例

疑い例のうち、次のいずれかを満たす者

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者
- ・原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者
- ・SARSコロナウイルス検査の一つまたはそれ以上で陽性となった者

[予防方法]

SARS対策の7原則

最新の発生状況を把握し、できる限り流行地域には行かない。

流行地域から帰国して症状が出たら、家族との接触を避け、医療機関に電話などで連絡してから受診する。

十分な流水による手洗い、うがいを徹底する。（流行地域での注意）

電車、娯楽施設など不特定多数の人が集まる場所はできる限り避ける。（流行地域での注意）

不特定多数の人が触れるものをさわった手で、口、鼻、目などをさわらない。（流行地域での注意）

飛沫を防ぐよう、マスクをする。ウイルスを完全に遮断するには、医療用マスクが必要。（流行地域での注意）

バランスのよい食事、十分な睡眠で免疫力を維持する。

病原体検出情報

- ・麻疹患者の咽頭拭い液から麻疹ウイルス（遺伝子型H1）を2例検出しました。

集団感染情報

この週には集団感染情報はありません

医療機関からの情報

盛岡市内の医療機関（小児科）からの情報です。

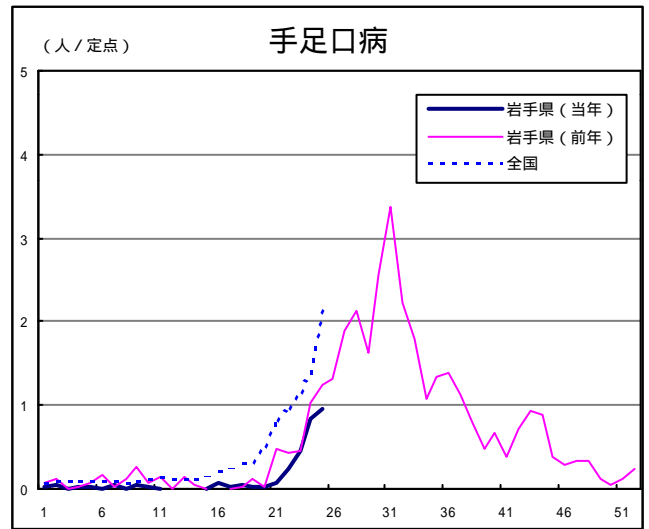
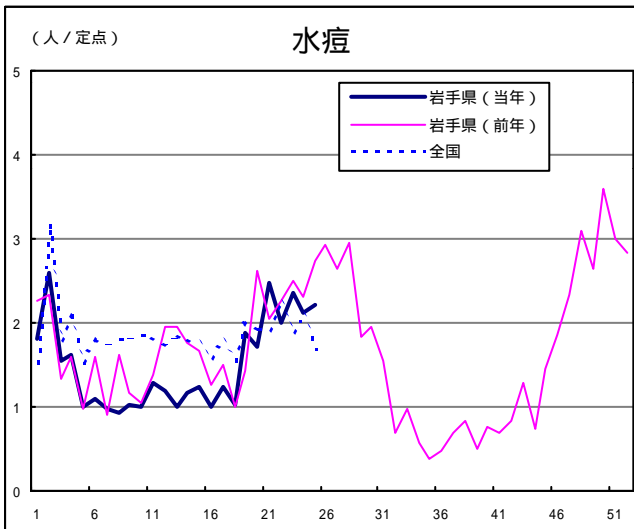
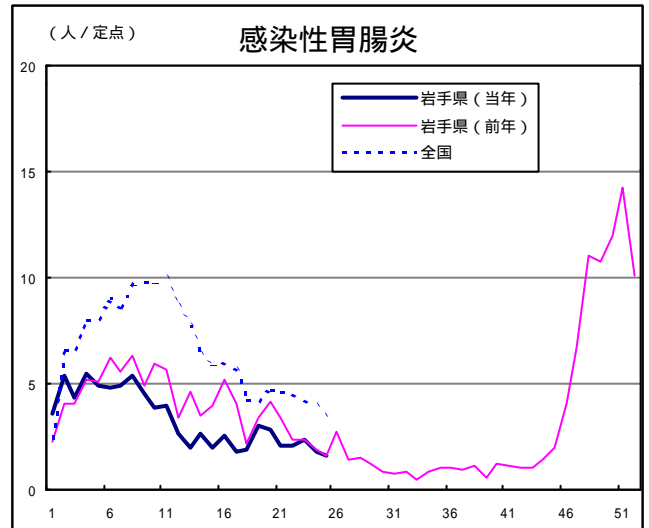
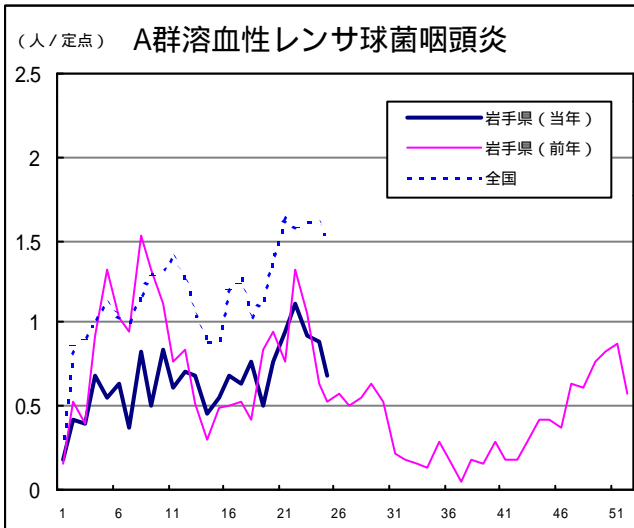
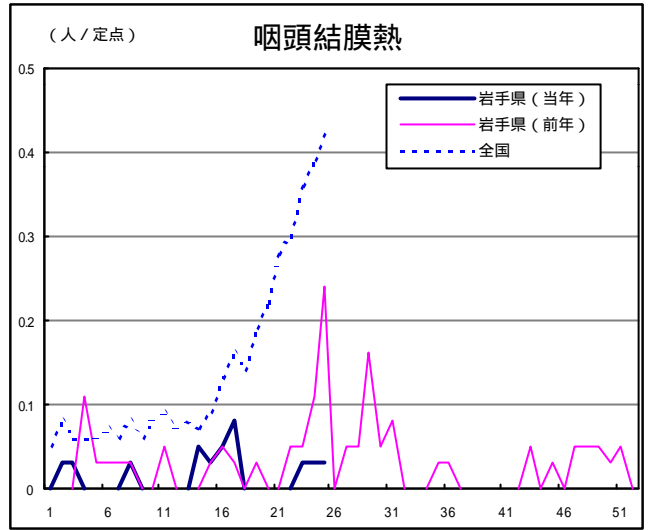
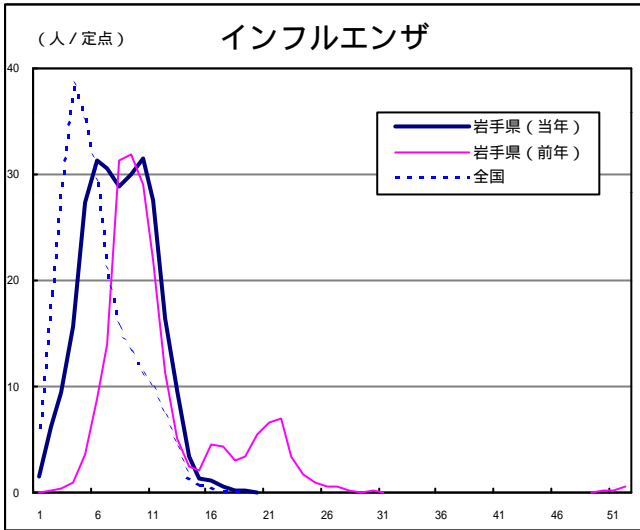
- ・急な発熱を呈した夏風邪の患者では、迅速診断キットでアデノウイルス陽性が多くみられます。

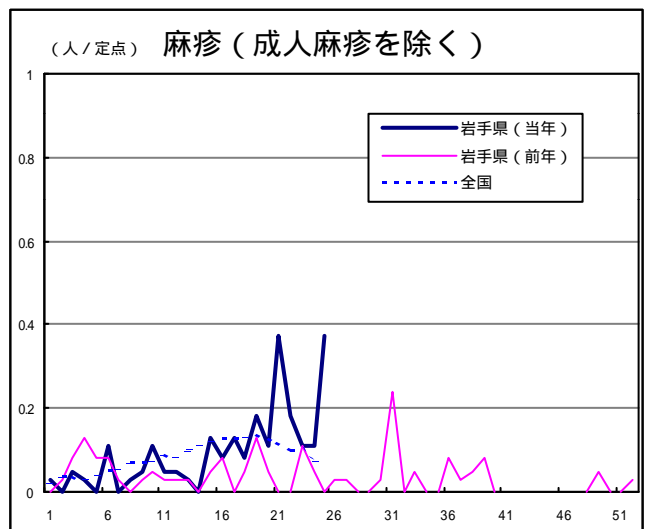
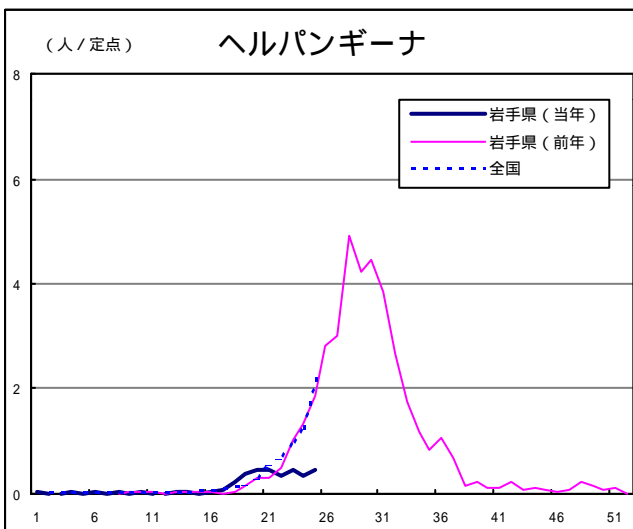
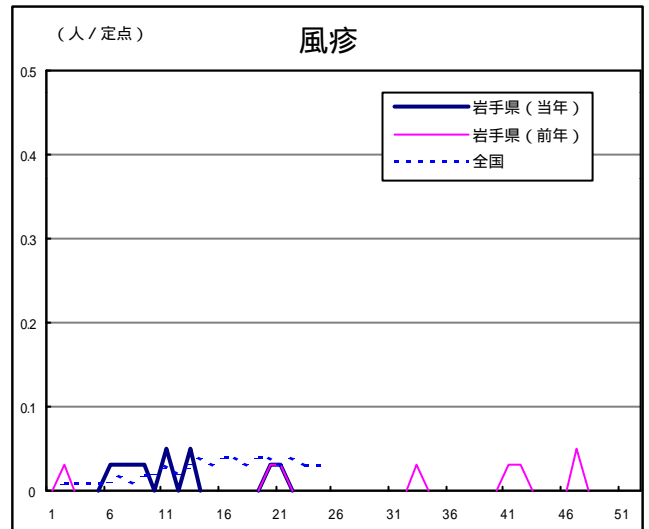
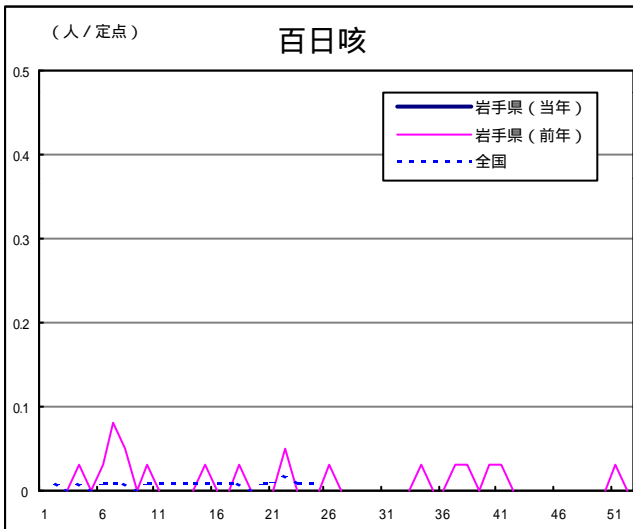
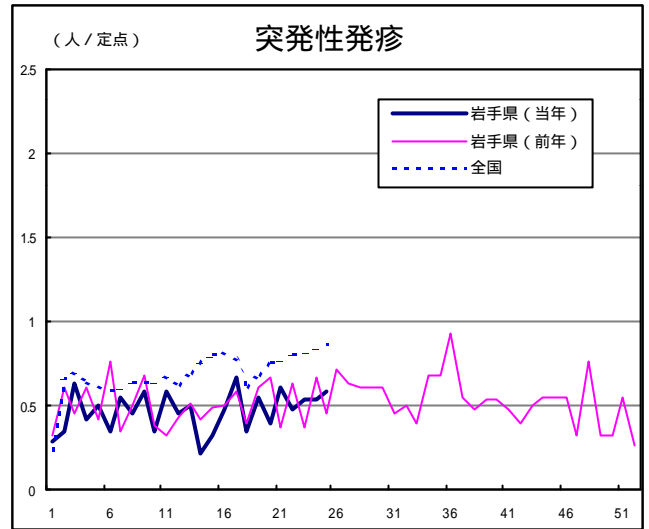
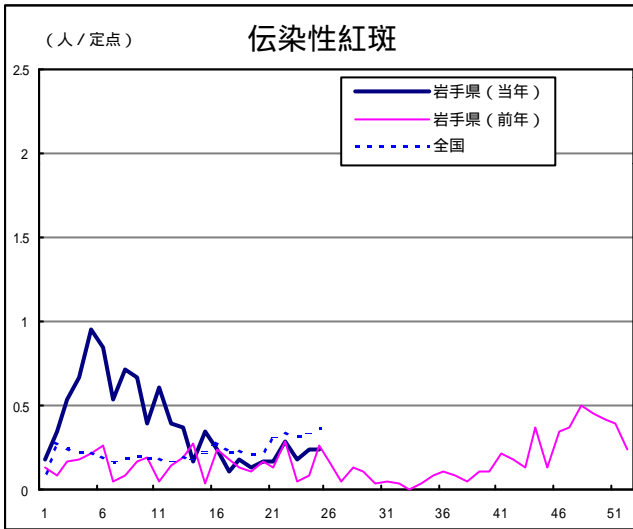
Q & A

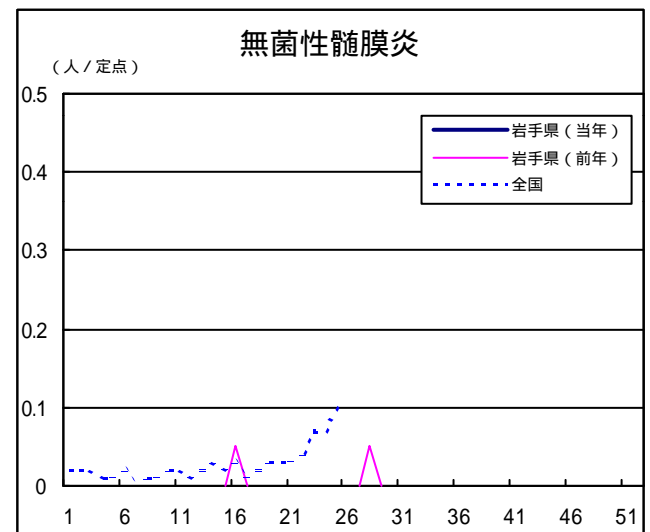
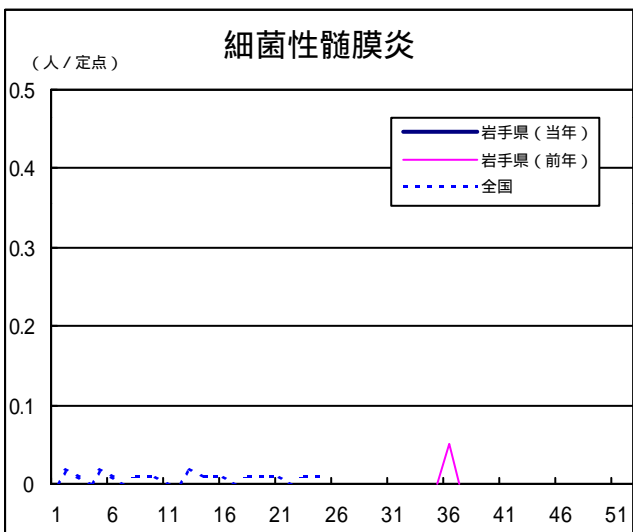
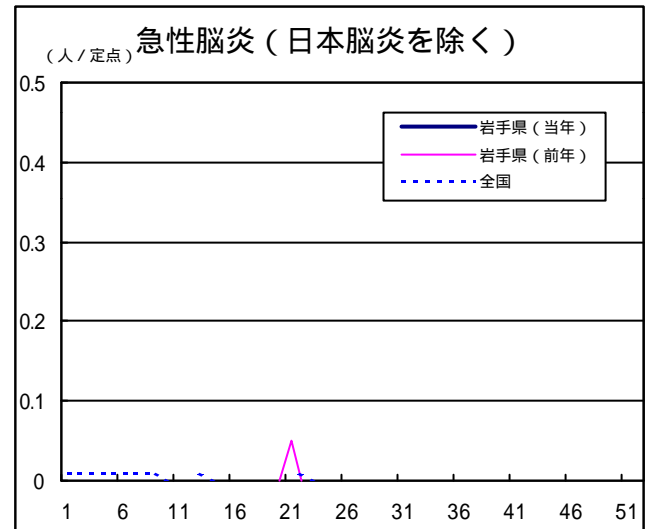
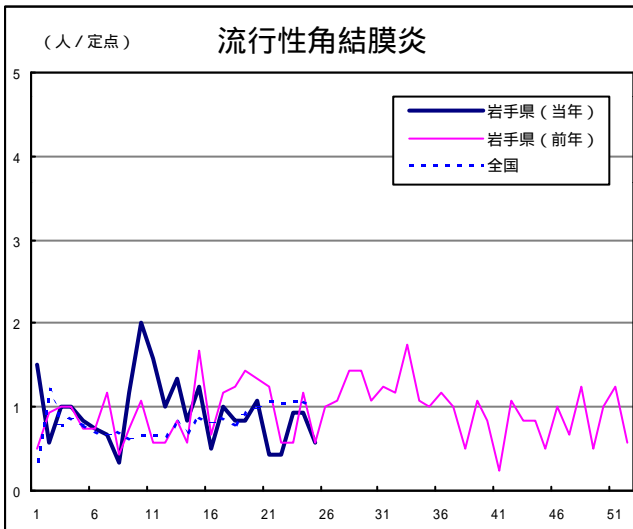
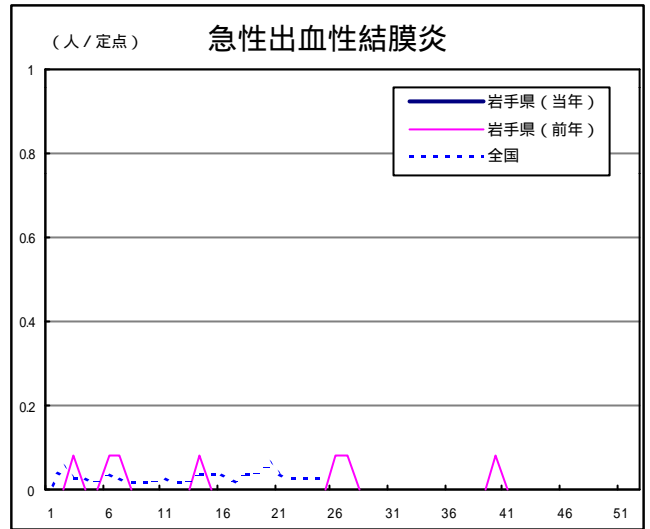
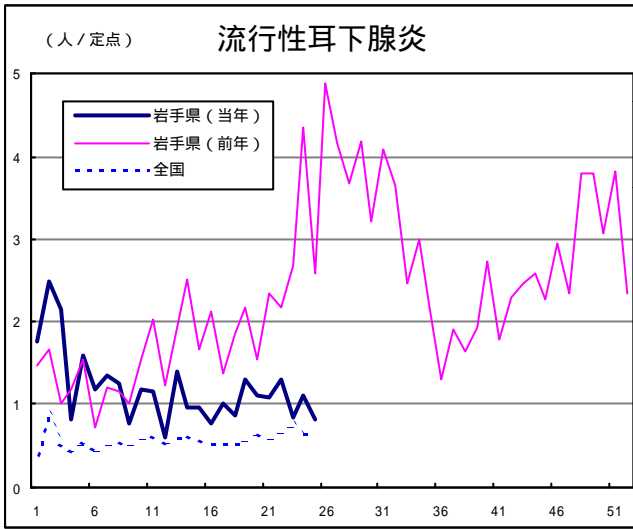
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

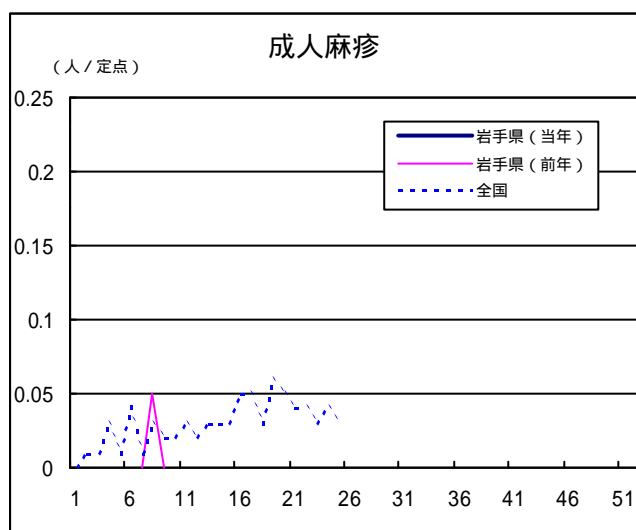
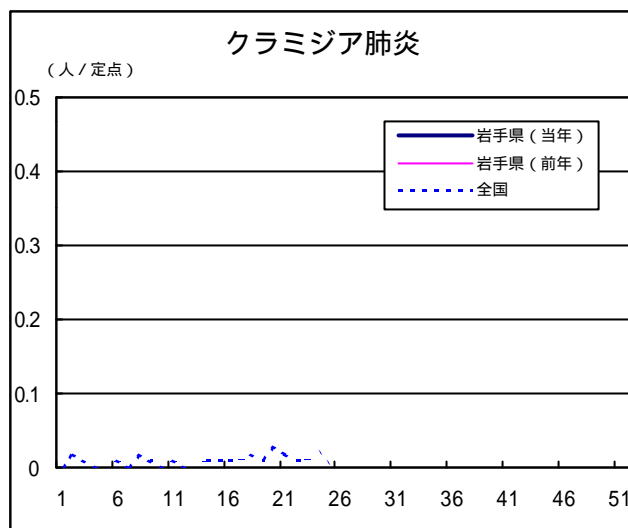
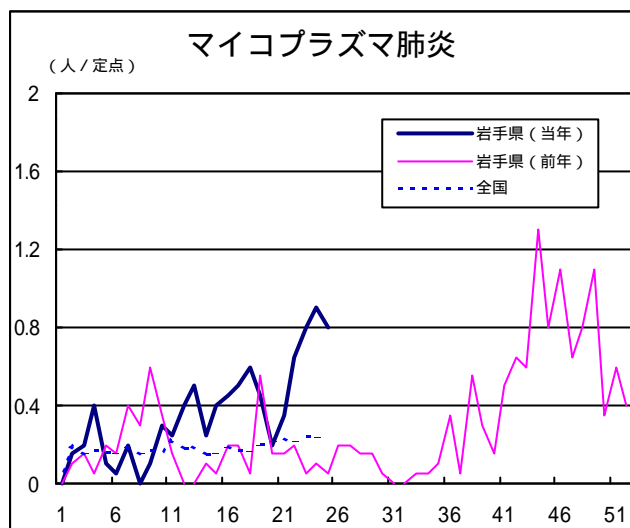
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第25週 平成15年6月26日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>